

第4回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成21年7月22日開催)

△森会長挨拶

森会長は冒頭、今回の衆院解散による総選挙に触れ、今回の選挙は小泉政権以来の社会保障削減政策を是正させる大きな機会になるであろうと述べるとともに、マスコミに扇動されることなく各党のマニフェストの内容をしっかりと見極め、日本の社会保障の在るべき姿を目指さなければならないとの見解を示した。次に、京都市で9月1日から実施される「女性特有のがん対策推進事業」について説明し、検診手帳記載の出典データ等に多くの問題点があるとして日医を通じて行政に訂正が可能となるよう申し入れているが、当面訂正されずに実施されるため医療機関において受診者に対応される際に留意していただくよう依頼した。

△報告ならびに協議事項

1. 新公益法人制度説明会について（中野理事）

8月8日（土）に府医会館で開催する「新公益法人制度説明会」の内容を説明し、地区役員等の参加を呼びかけた。また、質疑応答の時間を設けているので、ご質問等あれば事前に事務局（総務課）までご連絡いただくよう依頼した。

2. 医療系廃棄物適正処理関係（排出事業者責任等）の関連資料配布について（中野理事）

1. 廃棄物処理を処理業者任せにしていますか？（日本医師会）
2. 電子マニフェスト普及推進リーフレット（財・日本産業廃棄物処理振興センター）
3. 平成20年度 感染性廃棄物の不適正処理事例調査報告書 平成21年3月
（財・日本産業廃棄物処理振興センター自主調査）

日医から各地区医師会へ配布依頼があった医療系廃棄物関係資料の内容について説明し、各医療機関において感染性廃棄物、在宅医療廃棄物を適正に処理していただくよう注意喚起を依頼した。

（日本医師会ホームページ参照<http://www.med.or.jp/doctor/haiki.html>）

3. 会員メーリングリストへの登録について（藤井理事）

新型インフルエンザ運用指針の改定によりサーベイランス体制が変更され、発生状況の把握が困難になることが予想されるため、会員相互での情報交換が必要であるとして、各地区のML登録状況を報告し、地区でのML登録勧奨を依頼した。

4. 最近の中央情勢について（福州理事）

「社会保障費 2200 億円削減問題」「次期診療報酬改定」を中心に、6月中旬から7月中旬にかけての社会・医療保険状況について説明した。

5. 新型インフルエンザ対策について（柏井理事）

現在までの京都府、京都市の161件の発生を報告、7月よりかなり感染者数が増大して

おり、特に 国内感染例が増加している。一般医療機関受診が増えているので気をつけていただきたい。また、新型インフルエンザの指針改定により7月24日より新しい新型インフルエンザサーベイランスが開始される。これに伴い全数報告がなくなる。自宅療養をする患者には感染拡大を防ぐためしっかり指導していただきたい。「新型インフルエンザ説明会」「感染予防対策講習会」へのご参加、また「新型インフルエンザ対応PPEの斡旋」もご活用いただくよう地区での周知をお願いしたい。（京都医報7月15日号付録参照）

6. 第35回京都医学会について（小野理事）

一般演題の応募締切を7月末まで延長したことを報告し、多数応募していただくよう地区での周知を依頼した。

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

8月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し多数の参加を呼びかけた。

8. 京都府医療推進協議会主催イベント

『【介護】ひとりでがんばらないで！－信頼と助け合いの社会を目指して』
について（安達副会長）

今年度は京都市勧業館「みやこめっせ」で9月6日（日）に開催するイベントしか計画していないことから、是非多数参加していただくよう医療機関での患者さんや府市民への積極的な呼びかけを依頼した。